

東区の取り組み

別紙1

◇ 東区地域防災講演会及び東区防災リーフレットの作成

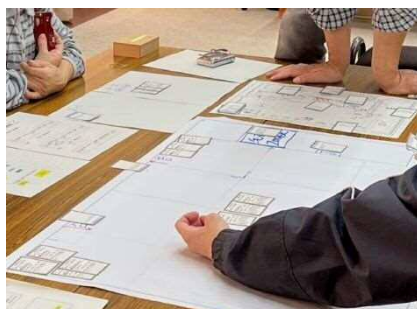
2022年9月の豪雨により、東区内では浸水被害が複数箇所が発生しました。

そこで、近年の豪雨災害の事例から防災対策を学ぶため、有識者を招いて講演会を開催します。開催に向けた準備については、「東区地域防災講演会実行委員会」を組織して、東区協議会（地域防災委員会）、自治会、自主防災隊などの各種団体及び地域住民の皆さんと一緒に取り組む予定です。

また、東区協議会（地域防災委員会）との協働により、東区防災リーフレットを作成し、市民の皆さんに向けて配布します。



＜マンホールトイレ設置訓練＞



＜HUG訓練＞



＜2022年9月 東区内の様子＞

◇ 俳句の里づくり事業

幅広い年齢層が俳句に親しむ機会を提供すると共に、俳句による地域振興を進めていきます。第16回目となる「十湖賞」俳句大会において、小中高校俳句講座をはじめとした事業啓発に取り組むことで、投句増を目指します。また、全国誌である「角川俳句」への広告掲載やSNSを活用した俳句大会のPR等を通して積極的な情報発信に努めます。



＜上:俳句講座 / 下:「十湖賞」俳句大会＞



◇ 中野町煙火大会開催事業

地域に慣れ親しまれ、貴重な文化資源として、継承され、人の輪や地域の絆を構築することを目的に開催している中野町煙火大会において、警備や交通整理、仮設トイレの設置等、市民が安全かつ衛生的に観覧できる環境を整えます。

＜安全対策＞



東区に関連する事業／東区の概要／目標

別紙2

◇ 東区に関連する事業

(新規) 「らくらく窓口証明書交付サービス」導入事業



コンビニと同じ簡単な操作で証明書が取得できる機器を区役所に導入し、市民にマイナンバーカードを利用したコンビニ交付の操作方法を体験してもらうことで、コンビニ交付の利便性を周知し、証明書発行窓口の混雑解消を図ります。

導入開始時期：2023年10月頃（事業実施課：市民部市民生活課）

書かない窓口の届出業務への拡充とキャッシュレス決済の利用促進

書かない窓口の届け出業務への拡充（令和5年6月）や、窓口におけるキャッシュレス決済の利用促進など「浜松市DX推進計画」に基づき、デジタルを活用し、市民の利便性向上と業務の効率化を推進します。

（事業実施課：デジタル・スマートシティ推進部デジタル・スマートシティ推進課）

◇ 東区の概要（面積・人口・世帯数）

面積	46.29km ²
人口	129,555人
世帯数	57,089世帯

住民登録（2023.4.1現在）※外国人住民含む



◇ 東区の目標

区分	目標	目標水準
全職員	東区職員は「思いやり運転 交通事故0」をテーマに、地域と協働で啓発活動に取り組む「交通安全広報マン」です。静岡県内の人口当たりの人身交通事故件数ワースト1脱出を目指します。	啓発活動30回を目指します。
区振興課	地域住民の皆さんによる主体的な避難所運営を啓発するため、HUG訓練（避難所運営ゲーム）や、避難所に必要不可欠なマンホールトイレの設営方法を学ぶマンホールトイレ設置訓練など、防災に関する出前講座を積極的に開催します。	地区ごとに1か所避難所を選定し、東区内6地区で各1回のHUG訓練開催を目指します。
区民生活課	「書かない窓口」が市民に対するサービス向上につながるよう、職員のスキルアップと親切、丁寧、笑顔の接客を心がけます。	「市民への約束」窓口対応のアンケートにおいて、すべての項目で「満足」の回答100%を目指します。
社会福祉課	子育て世帯の方、障害のある方、生活困窮の方などからの相談に対し、親切で丁寧な対応を心がけ、適切な福祉制度をわかりやすくお伝えします。	「市民への約束」窓口対応のアンケートにおいて、すべての項目で「満足」の回答100%を目指します。
長寿保険課	認知症による徘徊高齢者の早期発見を図るため、徘徊高齢者早期発見事業の周知に努め、オレンジシール・オレンジメールの登録者の増加を目指します。	オレンジシール登録者数150人、オレンジメール配信登録者数550人を目指します。
健康づくり課	母子健康手帳交付や指定難病申請等の各種手続きで窓口に来庁される市民の皆さんに親切で丁寧な対応を心がけるとともに、お客様の用件を速やかに理解した上で、お客様ごとに必要な対応を意識し、簡潔でわかりやすい説明を心がけます。	「市民への約束」窓口対応のアンケートにおいて、すべての項目で「満足」の回答100%を目指します。